

やさしいこだわり

小三

わたしは、だれにとつてもすごしやすい家がすてきだと思っています。

家は自分も、大切な家族も、長く生活する場所です。家族みんながすご

しやすくするためにこだわることは、人のことを考えいやるやさしさだと思います。

わたしの家のトイレは引き戸になっています。家をたてるとき、お父さんがこだわって引き戸にしたそです。なぜかというと、おし戸だと車いすの人がトイレを使うときにおし戸がじやまになってしまふから

です。しかし、引き戸だと車いすに当たらずに入ることができます。おじいちゃんやおばあちゃんが車いすにくふうしたそうです。わたしはお父さんにこのことを教えてもらつて、とてもよく考えられているなと感じました。

わたしは他にもいろいろな場所で、だれかにとつてすごしやすいこだわりがあるのかなと感じて、駅やスリバーのトイレをよく見てみました。

たくさん的人が集まる場所には、いろいろな人が使いやすいバリアフリートイレがあることが多いです。バリアフリートイレには、いろいろなくふうがされています。たとえば、

車いすのままでも使いやすいように広くなつたり、助けをよぶためのボタンやひもがあつたりします。こうしたくふうで、いろいろな人が使いやすいトイレになつています。他にもいろいろな所にだれかのために考えられたこだわりがあると思ひます。そんなこだわりをさがしてみたいのです。そして、わたしありたいかにとつてやさしい人であります。そんなこだわりをさがしてみたくなります。そして、わたしありたいと